

令和6年度 国民健康保険税の収納状況等について

1. 収納率の推移(対調定)

(1) 現年度分

・決算収納率見込み 96.5%

	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末
累計調定額(千円)	1,006,008	1,006,008	1,012,641	1,010,740	1,012,480	1,014,611	1,016,597	
累計収入額(千円)	73,369	229,605	343,797	450,838	556,309	663,481	767,322	
収 令和6年度(%)	7.3	22.8	34.0	44.6	54.9	65.4	75.5	
納 令和5年度(%)	8.5	22.9	34.0	44.0	54.6	64.5	75.4	83.9
率 増減(ポイント)	△1.2	△0.1	0.0	0.6	0.3	0.9	0.1	

(2) 滞納繰越分

・決算収入額見込 約 32,230 千円 (収納率 33.0%)

	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末
累計調定額(千円)	98,063	97,876	97,665	97,665	97,665	97,665	97,665	
累計収入額(千円)	14,628	17,335	20,562	22,770	26,021	28,465	30,471	
収 令和6年度(%)	14.9	17.7	21.1	23.3	26.6	29.1	31.2	
納 令和5年度(%)	10.5	14.0	16.3	18.4	20.3	21.9	23.6	25.0
率 増減(ポイント)	4.4	3.7	4.8	4.9	6.3	7.2	7.6	

2. 今後の収納対策

令和6年度は、都内62団体のうち収納率の対前年同月比にて現年度分52団体低下、滞納繰越分21団体低下となっており、収納側面においては厳しい社会情勢であることがうかがえる。

(1) 現年度分(5月末まで)

収納特別対策(徴収体制の臨時再編による現年分の量的質的滞納整理を行う)により出納整理期間内の完納と長期滞納の抑制に取り組むとともに、スマートフォンアプリによる決済やクレジットカード決済による納付方法の周知に努めて、一層の収納率向上を図る。

(2) 滞納繰越分

令和5～6年に取り組んできた徴収業務のDX成果により、所得や財産状況の把握の早期化から、収納率向上、滞納世帯減少の成果が表れている。年度末までは適切な滞納処分とともに、資力の低い滞納世帯における滞納処分の執行停止に取り組み、歳入確保と納税者の保護を図って滞納繰越分の累計調定額の削減に努める。